

(事例) 国道200号 道路防災対策

【対策目的・内容】

当該箇所は、大雨により法面崩壊の恐れがあったことから、道路の安全を確保するため、斜面に鉄筋を挿入することで動きを抑え、法面の崩壊対策を実施しました。

【対策効果】

工事完了後、令和5年7月の大雨
(時間雨量64mm、24時間雨量290mm)を経ても、
被害は無く、道路の安全が確保されました。

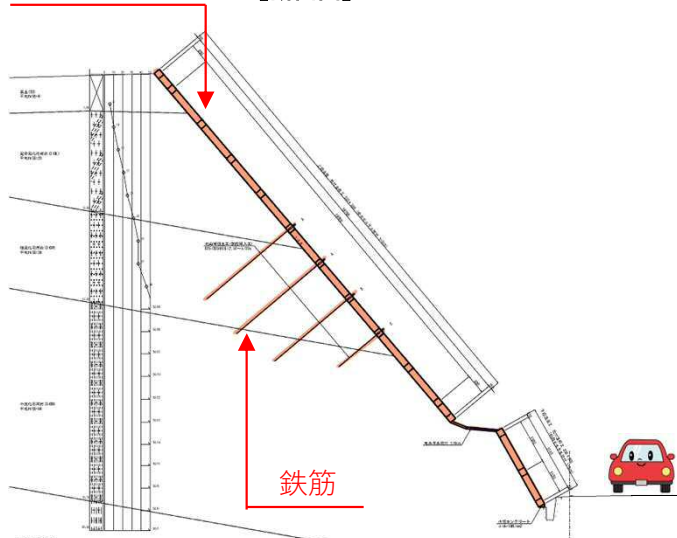


【事業概要】

- ・事業箇所 : 福岡県筑紫野市大字山家
- ・事業期間 : 令和2年度～令和4年度
- ・全体事業費 : 約1億円
- ・対策内容 : 法面崩壊対策(コンクリート法枠・鉄筋挿入)

(国道200号・・・北九州市八幡西区を起点とし、飯塚市 を経て、筑紫野市に至る総延長約89kmの幹線道路。)

【断面図】



【対策前】



【対策完了】

